

第 686 回 役員会(臨時) 議事概要

- 1 日 時 令和 8 年 4 月 15 日 (水) 11 時 30 分～12 時 00 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 8 名：
染矢学長、川端理事、澤村理事、大鳥理事、小野寺理事、住吉理事、
藤澤理事、塚本理事
陪席者 2 名：
末吉特命理事、岡監事 (欠席：菊地特命理事、赤塚監事)

4 審議事項

(1) 「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」の申請について

「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」の申請について、資料 1 に基づき審議が行われ、最終的な内容修正は学長に一任することとし、承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・「1. ビジョン」の概略図は、記載されている数字や図の構成を見やすいように工夫した方が良い。また、文章中に「これまでに実績が得られているため、今後は人数を増やしていく」という趣旨の説明を加えた方が良い。併せて、女性比率について言及している箇所は、今後の上昇を目指す姿勢が伝わる表現に修正した方が良い。
- ・4-1-2 (2) に記載しているいわゆる契約学科制度については、「日本初」ということを明示したうえで、博士後期課程学生を増やすための取組としてではなく、既に実施している成果として説明を記載した方が良い。
- ・4-1-2 (2) の「学部学生が大学院に進学したくなる直線的かつ実践的なプログラム」という表現は、魅力的な新しい学位プログラムであることを主張したい場合は、その点が伝わる表現に修正した方が良い。
- ・「1. ビジョン」の「その取組みの中で大学院を中心とする改革を進めている」という表現については、「その実現に向けて博士人材育成と大学院教育改革を一体的に進めている」などの表現の方が伝わりやすい。また、2 行目から 6 行目までの文章は一文が長いので読みやすさの観点から適宜文を区切った方が良い。併せて、文中の「博士イノベーター」という用語は、FLAGs を知らない読み手にも理解できるよう、簡単な説明を補足した方が良い。さらに、「博士入学者数を増やしていくことを目標として掲げている」という趣旨の表現ではなく、FLAGs に採択されていることにより、その方向性が支援されているという趣旨が伝わる表現とした方が良い。